

単元名 わくわくすごろく

氏名: 本間尚仁

学校名: 札幌市立元町北小学校

担当教科: 小学校全科

実践教科: 図画工作

時間数: 6時間

対象学年: 小学2年

人数: 34人

学習領域

	1	2	3	4	関連するSDGs
A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生		
B グローバル社会	相互依存	情報化			
C 地球的課題	人権	環境	平和	開発	
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）

- ・マレーシアに関わるお話や出来事がつながる楽しいすごろくを、身近な材料や用具を使ってつくる。
- ・マレーシアという国の文化や習慣などについて理解を深める。

【2】 単元の評価 規準例	(ア) 造形への 関心・意欲・態度	お話や出来事、形がつながる、遊ぶと楽しいすごろくをつくることに取り組もうとしている。
	(イ) 発想や構想の能力	お話や出来事を表す形や色、ゴールまでのつながりなどを考えたり、つくりながら思いついたりしている。
	(ウ) 創造的な技能	手を働かせながら材料や用具を使い、お話や出来事の表し方や飾り方など、すごろくのつくりかたを工夫している。
	(エ) 鑑賞の能力	見る、触る、遊んでみるなどしながら、お話や出来事の表し方の面白さやゲームの楽しさに気付いている。
【3】 単元設定の理由	<p>渡航前、子どもたちに「マレーシアに行くけど、何か調べてきてほしいことある？」と聞くと、「食べ物」「動物」「服装」「目の色」など、たくさんの興味関心が聞かれた。子どもたちは、マレーシアに関しての知識がない中でも、「外国」は「自分たちとは違うところがある」という認識は持っているようだった。小学2年生の児童にとって、「外国」に関する知識は少なく、あるいは、多少知っていてもテレビ番組で放送されている内容に偏っていることが考えられる。</p> <p>本単元では、「外国」の中の1つである「マレーシア」を通して、子どもたちの「外国」への興味関心を更に高めるとともに、より広い視野でとらえられるように授業を進めていきたい。また、国際理解のスタートとして、「外国＝日本と違うものばかり」という認識ではなく、「同じ」「似ている」という部分にも積極的に触れていくことで、知識の偏りや「違っている＝悪いもの」という偏見を減らし、更には知識を広げていきたい。</p> <p>授業の構成としては、マレーシアについての知識を深めたのち、それをもとにすごろくを作る活動に取り組んでいく。マス目の内容も、みんなが楽しめて、かつ、マレーシアの</p>	
✓ 児童/生徒観 ✓ 教材観 ✓ 指導観		

知識が深まるように工夫していきたい。
 何よりも、子どもたちが「外国・マレーシアって楽しそう！行ってみたい！」と思ってくれるような、気持ちを持ってもらえるように授業を展開していきたい。

【4】展開計画（全6時間）

※全体の総時間数や「本時」の記入場所は適宜変更して下さい。

※活動・内容の部分は具体的に記載下さい。適宜写真を添付下さい。

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	写真をよく見る活動を通して、マレーシアに対する、共感的な理解や想像力を広げるとともに、学習の見通しをもつ。	<p>○マレーシアを地図で探す</p> <p>○パズルを完成させよう（グループ分けも兼ねて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真のピースを1枚持って、仲間を探す。 ・仲間を見つけ、写真を完成させたグループから違う席に座る。 <p>○写真からわかることをグループで考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合っているかどうかよりも、細かいところまで写真を見て、どんなものが写真に写っているのかを考える。 <p>○グループごとに発表をする。</p>	<p>○写真</p> <p>○ワークシート</p>
2,3	フォトランゲージを通して、マレーシアに関する正しく幅広い知識を身に付けさせる。	<p>○それぞれの写真について内容を確認する。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>①クアラルンプール</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>②ゴムを伸ばしている</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>③セパタクロ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>④アブラヤシ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>⑤授業風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>⑥バンブーダンス</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>⑦ウルスナガン村</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>⑧コンビニの商品</p> </div> </div>	<p>○前時で書き込んだ画用紙</p> <p>○クイズのカード 2種類</p>

		<ul style="list-style-type: none"> マレーシアの文化や習慣について知る。 マレーシアの中にも日本と似ているものがあることに気付く。 <p>○マレーシア(または日本)にしかないもの、どちらにもあるものに分けるクイズに取り組む。</p> <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 初めて知ったこと もっと知りたいと思ったもの・こと など 	
4 本時	<p>すごろくの遊び方を話し合ったり、作る方法を知ったりする活動を通して楽しいすごろくになるお話や出来事、場面を考える。</p>	<p>○すごろくのルールや遊び方を確かめる。</p> <p>○どんなマスがあったら楽しいかを考える。</p> <p>○グループで話し合い、マスの内容を考える。</p> <p>○クラスで1つすごろくを作り、遊ぶ。</p>	<p>○2,3時間目までに使用した写真を1つにまとめて印刷したもの</p> <p>○すごろくのマスを書く紙</p>
5,6	<p>お話や出来事の場面などの考えたことをもとに、それらの並べ方やつなぎ方を工夫してコースを作ったり、コースの周りを飾ったりしながら、すごろくを作る。</p>	<p>○グループですごろくを作る</p> <p>○ほかのグループとも交流する。</p> <p>○すごろくで遊ぶ</p> <p>○振り返り</p>	<p>○2,3時間目までに使用した写真を1つにまとめて印刷したもの</p>

【5】 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 0分	<p>○これまでの学習を振り返る</p> <p>○課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">マレーシアに旅行しに来たけど、もうゴールになったね。もっと回れないかな？</div>	<ul style="list-style-type: none"> すごろくをしながらマレーシアを旅行しているという設定。 すごろくのボードを実際に見せながら、マスを確認していく。 	
5分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">マレーシアすごろくのマスを考えよう。</div> <p>○すごろくのルールや遊び方を確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろなすごろくゲームがあるけれど、どんなもので遊んだことがありますか。</p> <p>「ぼうけんのすごろく」</p> <p>「乗り物のすごろく」「食べもののすごろく」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">遊んだ時にどんなマスがありましたか？</div>		

<p>10分</p>	<p>「言葉が書いてあるだけのマス」 「1マス進めるマス」「2マス戻るマス」 「ゲームとかやってみてできたら進めるマス」 「振り出しにもどるマス」「絵だけのマス」 「何も書かれていないマス」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お話を想像してマスを考えても面白いよね。</p> </div> <p>例1 「村の子どもたちとサッカーをして友達になる。1マス進む。」 例2 「お店に行ったら、おまけでランブータンをもらった。1マスすすむ。」</p> <p>○班ごとにマスを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>班でマスを話し合ってみよう。みんなが考えたのを集めて1つのすごろくにしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで1つのすごろくを作り、どんなすごろくができたか確かめる。 ○できたすごろくで遊ぶ。 ○振り返り、次時予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話や出来事を考えなくても、印象に残った絵を描いてもマスになることを知らせる。 ・1人1～2枚書く。難しい子は、友達と話し合っ作ってもよい。 ・班の代表がサイコロをふる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスを書く紙 
------------	---	--	--

【授業実践の様子】（本時での写真を添付し、キャプションをつけて下さい）

すごろくのマスを作っています。これまでの学習で紹介した写真を見て学習を振り返り、楽しいすごろくになるように想像力を働かせながら、一人ひとり丁寧にマスを作っています。



【6】 本時の振り返り

すごろくで遊ぶ経験をしている子どもは多くいたが、初めてマスの内容を考えるとということでどこまで自由に考えて良いものか、あるいは「戻るマスは作らない」「ワープは禁止」など条件を指定して作った方が良いかとても悩んだ。本時では、子どもたちを信頼して、条件を指定せず、自由に発想させることにした。前時まで使用した写真の綴りを眺めながら、一人ひとりが印象に残った場面をマスのお話として考えることで、マレーシアに対しての印象を素直に表現できると思ったからだ。

マスの内容を考えるときには、「スラムットゥンガハリ！」「バンブーダンスをやりたいな」と、心に

残ったキーワードを発しながら楽しそうに作る姿が印象的であった。文章を考えたり、想像を膨らませたりすることが苦手な子も、すらすらと書くことができていた。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化

【途上国・異文化への意識の変容について記載下さい】

(授業前)

渡航前、クラスの子どもたちに「今度、マレーシアという国に行くけれども、何か調べてきてほしいことはある？」と聞くと、「どんな食べ物があるの？」「目の色は？」「服装はどんな感じなの？」「暑いなの？」と、興味津々な様子。「貧しい国なのではないか」「危ない国なのではないか？」という先入観もなく、素直に、自分たちとの違いがどのようなものであるか関心を寄せていた。



ちなみに、授業だけでは、紹介しきれないところや知ってもらいたいことをまとめたマレーシアコーナーを作りました。



(授業後)

マレーシアのアブラヤシの産業が、自分たちの生活と深く結びついていることを振り返り、とても身近に感じられる存在となった。また、文化や習慣などの違いについても偏見として受け入れるのではなく、「面白い」という興味関心を抱くようになった。簡単な挨拶も学校だけでなく、家庭でも使う子どもがいるなど、楽しく、そして外国についてより興味を持てるようになった。

【8】 自己評価

<p>1. 苦勞した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教科で授業を行うのかという点について、とても悩んだ。低学年ということもあり、外国語や総合的な学習の時間の授業がないため、他の先生方よりも悩んだ記憶がある。生活科で行うには、学習指導要領の内容からはみ出してしまうことや、音楽についてはバンブーダンスの体験に終わってしまうのではないかと考えた。サバ大学に訪問した際、学生が環境教育について学んだ内容をボードゲームにしていたことと2年生の「わくわくすごろく」という単元がマッチしていると思いつきこの単元を考えることとなったが、非常に苦勞した。 ・すごろくのマスを考える際に、どのような内容が子どもから出てくるのか予想するところ。(他の2学級でも、事前に本時の内容を実施したが、受け持つクラスと実態が違うため、場合によっては条件を指定した方が良いと感じたから。)
<p>2. 改善点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2, 3時間目でパワーポイントを使い、画像を子どもたちに見せる時間があったが、撮ってきた写真をたくさん見せてあげたいという思いとは裏腹に、授業時間が多く取られてしまった。(必要悪のような気もしますが。) <p>☞写真を厳選し、注目させたいポイントを絞って指導する。</p>
<p>3. 成果が出た点</p>	<p>【7】の授業後と同じ内容なので割愛させていただきます。</p>